



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2025～2026 年度 テーマ

プロバスだより

第357号

2025 年 8 月 21 日発行

編集・発行 情報委員会

「楽しみ、学び、互助精神、奉仕を通じて輝くシニアライフを！」

定期総会

日 時 令和 7 年 7 月 10 日 (木)

場 所 八王子エルシィ

出席者 総会 29 名

例会 29 名 出席率 83%

(会員総数 38 名、欠席 6 名、休会 3 名)

1. 開 会

馬場例会委員長

只今より定期総会を開催します。

2. 会長挨拶

持田会長

いよいよ創立 30 年目の年度が始まりました。1995 年当時とは時代が大きく変わりました。30 年と言えば、家族でも一世代、会社でも世代の变革がある年代です。謂わば時代の節目に当たります。この重要な年度に差し掛かった訳で、自分を変えたり、クラブの姿・形を変容させて環境変化・時代変化に対応することが喫緊であります。詳細な年度方針などは、次の例会の挨拶の場で申し上げます。

本日は、大変嬉しい報告があります。それは、新入会員を紹介できることです。この度、土井俊彦氏に新しい仲間になって頂くことができました。現在、多くの分野で現役としてご活躍されており、今後大変期待できる若い方の入会です。この後、杉山理事より紹介して頂きます。

また、例会の食事の時から、東京八王子南ロータリークラブの副会長・副幹事の 2 名がご来場されます。温かくお迎えください。

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、持田会長が議長席

につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記・議事録署名人の選出

書記に岩島寛会員、議事録署名人に土井俊玄会員、大野教子会員が選任された。

5. 議 事

議案は配布されているので、項目のみを記載する。

第 I 号議案 第 29 期(2024 年度)事業報告

第 II 号議案 第 29 期(2024 年度)一般会計決算報告

第 III 号議案 第 29 期(2024 年度)活動準備資金特別会計決算報告

第 IV 号議案 第 29 期(2024 年度)「第 2 回合唱祭」特別会計決算報告

※第 II 号～第 IV 号議案までの一括会計監査報告

第 V 号議案 第 30 期(2025 年度)概要及び一般会計予算案

第 VI 号議案 活動準備資金特別会計予算案

全ての議案が、特に質疑なく、全員一致で可決承認された。

6. 議長解任

7. 閉 会

第 357 回例会

1. 開 会

馬場例会委員長

第 357 回例会の開催を告げ、配布資料の確認が行われた。

2. 会長挨拶

持田会長

先ほど、挨拶しました中で、30 年の節目ということにふれました。環境変化の中で、我々は大きく変わらないといけない、と言うことを話しました。

時代のニーズに合ったクラブに変わっていきましようということです。そこで、スローガンは、下記の通りです。

「**楽しみ、学び、互助精神、奉仕を通じて輝くシニアライフを！**」

30年経ち、自分たちも年齢を重ねましたので体調なども常に万全ではありません、そんな場合でも助け合いながら支えながら、しかも奉仕活動は継続、進めることにより、輝くシニアライフにしていましよう、という内容です。

年度方針の骨子は、5項目下記の通りです。

30周年記念事業：2025. 10. 26 京王プラザホテル

1部：講演会 宇宙飛行士の講演

15周年記念

2部：創立30周年記念式典・祝宴

「**第3回合唱祭**」：2026. 3. 20 いちょうホール

八王子の小中学生の合唱の輪を広げる

広報プロジェクト

会員数が最大72名（H25. 6. 30）規模を誇った我がクラブも、会員の減少が著しい現在は40名弱で高齢化も著しい。ある意味では、数は力でもあり、クラブを将来に繋げる為にも、会員数増員のための広報プロジェクトを立ち上げ、時代に沿わせていく意味でも、セミリタイア、現役世代にまで会員獲得PRの目線を広げる。

会員相互の交流・親睦・互助の深化

日々の活動をする中で、楽しい例会、楽しい同好会活動を通じて、会員相互の絆を強め、各活動・プロジェクトに活性化を与える。

諸活動を充実させる

・「宇宙の学校」の更なる充実

カリキュラムの充実、募集数の増加、サポート部隊への補助充実

活動の協業化の検討（南RC）

・同好会活動への積極的参加

会員の各同好会への所属増大化

これら年度方針を、各委員会・各プロジェクトチームにて、さらに具体的詳細方針に砕いて頂き、年間を通じて実施して頂きたいと思えます。そうすれば、一年後には必ず大きな変革ができ、クラブ方針&目標が達成できるはずです。よろしくお願いいたします。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ副会長溝口勝巳様、副幹事山下力人様のお二人がお越しくださいました。

溝口様からは八王子プロバスクラブが行っている種々の奉仕活動のうち、特に子どもたちを育む活動について激励のご挨拶をいただきました。



4. 新入会員 土井俊彦さんご紹介 杉山 友一

クラブ30期の新年度からお仲間に加わって頂く土井俊彦会員をご紹介します。

土井俊彦さんは、曹洞宗萬松山興岳寺のご住職です。つまり土井俊玄会員のご子息で61歳です。父俊玄会員の入会年齢が60歳で30年経過したことを機に親子会員になって頂きました。八王子プロバスクラブの3年先、5年先を見据えた上での人材確保でございます。お寺さんの責任役員を務めている私の立場から申し上げても、八王子千人隊縁のお寺の経営は盤石ですし、土井俊彦さんは、ご住職の傍ら、八王子の仏教会会長、文化連盟理事長、（公財）文化ふれあい財団評議員、（社福）多摩養育園評議員など、大変幅広く社会活動のリーダーを務めておられます。入会後は持田会長年度に私が進めるクラブの広報プロジェクトのメンバーとして早速ご活躍願うことになろうかと思います。どうぞ皆様末永くよろしくお願いいたします。

5. ハッピーボックス披露

丸山副会長からハッピーボックス20件の披露がありました。（3～4ページに掲載）

6. バースデーカードの贈呈

7月生れの浅川文夫会員、岩島寛会員に池田ときえ会員手作りのバースデーカードが贈られました。

（写真左から浅川会員、持田会長、岩島会員）



7. 委員会活動報告・今期活動方針

(1) 例会委員会

馬場委員長

会長の意向を受けて、8月から10月までの3か月間、例会前の30分を会員の自由交流の場(グータッチ会)として施行する。参加は強制せず任意とし、継続か否かは10月に判定したい。

(2) 情報委員会

丸山委員長

前年度の活動方針を踏襲します。会員の寄稿文を掲載するので、皆さんのご協力をお願いします。

(3) 会員・研修委員会

池田委員長

①活動の見直し：奉仕活動、卓話、同好会活動の活性化に努める。②新会員の募集：入会基準を見直す・会友の検討。③交流と親睦：他クラブとの交流・特別例会・見学会

(4) 地域奉仕委員会

持田委員長

年度目標：「第3回合唱祭」の開催を成功させる。そのために、将来の希望溢れる若い世代とふれあうことを楽しむ。八王子市の学校教育に対する考え方を学ぶ。委員会メンバー同士が**互助の精神**を持ち合い展開する。小中学校の10数校の合唱関係者へ演奏する機会を提供することでクラブの**地域奉仕活動**を主導実践する。

(5) 宇宙の学校

塚本リーダー

今年度も実施しますので会員の参加ご協力をお願いします。

(6) 広報プロジェクト

杉山リーダー

会員増強活動で、クラブの2年先、3年先を見越した広報活動の展開を図りたい。併せて、会員の高齢化に伴い、ミスマッチの傾向が強くなってきた八王子「宇宙の学校」事業について、他団体等と協力関係が築けないか情報交換を深めたい。

(7) 交流担当

田中理事

(8) 30周年事業実行委員会

持田委員長

- ・7月3日の理事会で7月10日より準備委員会から実行委員会に移行する旨の報告をした。
- ・8月には、委員会にて予算(収入/支出)案を提案、理事会で報告できるようにする。
- ・8月には、リーフレットを準備し、各参加予定者へ発送を開始する。

8. プロバス賛歌斉唱

9. 閉 会

丸山副会長

定期総会が無事に終了し、その後の例会において会長の年度方針が示され、第30期が始まりました。第30期も楽しい例会にしましょう。



◆持田丸Ⅱの無事航海を祈ります。 野口 浩平

◆15年間で初めて例会欠席で申し訳ありません。唯今、日本一周の船旅を楽しんでいます。8月の再会を楽しみに。 野口 浩平

◆ベルーナドームネット裏席で西武・日ハムの試合観戦。14時試合開始でしたが涼しい風が流れ、快適な時間でした。 丸山 恭

◆京都大徳寺黄梅院でウクライナ出身大相撲東前頭筆頭の安青錦に出会い握手し話をしました。今後の活躍が大いに期待される21歳。 丸山 恭

◆新年度を祝って。私は体調不良でどこまでできるかわかりませんが、よろしくお願い致します。

河西 成幸

◆ひ孫が1歳になりました。ひいばあとしては、健やかな成長を願っています。 有泉 裕子

◆第30期・持田丸は一人三役や二役を担う会員も出る大変な会期になるようです。全員で協力して乗り切りましょう。 馬場 征彦

◆7月1日に、体調不良で控えていたゴルフを7ホールだけですがプレイしました。秋への希望が出てきて、ハッピー。 馬場 征彦

◆とうとう90歳の大台に登り詰めました。これからは、「俺も年をとったなあ」と老いを歎かず、これから生きてゆくには「今が一番若いんだ」と自分を励まし、一日一日を噛み締めて生きて行こうと思います。 岩島 寛

◆先日、昔懐かしい人達が訪ねてきてくれて、我が家が大いに盛り上がりました。メキシコ石油公団に勤めていたエンジニアとその家族ですが、その後日本に定住し、我々は仲人をしたのでした。

田中 信昭

◆本日より新たな年度を迎えます。持田会長年度スタート、おめでとうございます。会員一同ハッピーな一年が過ごせますように。 飯田富美子

◆シニア・ダンディーズの報告。2025年の上半期の

シニア・ダンディーズの出演活動は3回。無事に終えました。最後6月21日は「八王子早稲田OB会」に出演しました。大好評で「ブラボー」「ブラボー」が沢山飛びました。後半は10月に4回の本番があり、夏休みもなく練習にがんばっています。応援よろしく願いいたします。

シニア・ダンディーズ団長・立川富美代

◆息子・俊彦が今月入会いたします。皆様よろしくお祈いします。ひ孫が一歳となり、会うのが楽しみです。
土井 俊玄

◆新会員土井俊彦さんを推薦し、新年度初例会の本日入会されました。皆さま、末永くどうぞよろしくお祈いいたします。
杉山 友一

◆今年はクラブ創立30周年です。持田会長を中心に、数年先を見通したクラブづくりをしていきましょう。
杉山 友一

◆私の孫娘(小五)が合唱団(八王子キッズシンガーズ)に所属していますが、本日、大阪万博会場にて、ISSの「きぼう」の大西船長に向けて、小中学生28名で歌を届けます。日本代表で八王子が選ばれました。本日夜19:30よりYouTubeのLive映像で見られます。KIBO SPACE LIVEという検索でつながります。是非、今晚は子供たちの歌を聴いてください！
HAPPY!!
持田 律三

◆本日、30期の体制が始動致しました。クラブ創立30年という大きな節目です。大切な舵取りをすることになります。自分的には健康に十分気をつけて参ります。皆様のご協力を得ながら、巡航速度で進行して行きます。よろしくお願い致します。
持田 律三

◆窓辺に置いてある鉢植えのハイビスカスが何年か振りに花を咲かせた。鮮やかな色で癒される。
一瀬 明

◆今月から30期がスタート。30周年記念事業を含めて、意義ある期にしたいものであります。執行部を先頭に、皆で盛り上げていきましょう。
一瀬 明

◆一年間、皆様のご協力で会長職をなんとか務めることができました。ありがとうございました。「語りたい場、語れる場、学び高まる場」に皆さんが近づいたと思ってくださったらハッピーです。
塚本 吉紀

俳句同好会便り

私の一句(七月の句会から)

河合 和郎

異常な暑さの夏。その中でも仲間は元気に参加し賑やかに句会を楽しんだ。趣味の世界に没入するのも避暑の便法の一つかも知れない。

さて、今月の一句は。

ざはめきて緑波打つ夕立前 池田ときえ

天気の変わり際の変化を繊細な感覚で捉えた一句。研ぎ澄まされた俳句感が鋭い。夕立の迫りくる風のざわめきが聞こえてくる。

雷鳴の航路の先に街明り 野口 浩平

作者は俳号を「旅人」と呼ぶほどの旅行家である。揚句は沖縄への船旅の際の一景とか。旅は人を詩人にしてくれるようだ。

語り部の老いて悲しき原爆忌 飯田富美子

戦後八十年。原爆の被災者も年々高齢化してその数も少なくなっている。悲劇の実態を後世にどう伝えるかは大きな課題。問題提起の一句。

噴水や行き交う人々足緩め 馬場 征彦

この句から日比谷公園の大噴水を思った。涼やかな光景が浮かんでくる。下五の「足緩め」に作者の「ホッと感」がよく表されている。

野球帽三つ並んで大夕焼 田中 信昭

野球帽を被った少年が三人。夕焼け空を見上げている。野球帰りであろうか。「三つ並んで」がいい。あとは読み手が大景を想像してくれる。

乗り遅れしバス遠ざかる炎暑かな 石田 文彦

ほんの僅かの差でバスに行かれてしまった。普段ならば後のバスを待てばよいのだが、炎天下では辛い時間だ。中七の「遠ざかる」が切ない。

忘れまじ戦の果ての暑き夏 河合 和郎

戦後八十年。戦争体験を語れる人も少なくなった。戦争の亡霊はそんな時に頭をもたげる。あの惨劇を後世に伝え、二度と起こしてはならない。

編集後記

新年度はより親しみのある「プロバスだより」の発行に取り組みます。

皆様のご協力をお願いします。

情報委員会

